



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2014～2015年度 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン
RIテーマ ロータリーに輝きを

クラブテーマ「感謝の心で出席しよう」会長 矢岸貞夫

副会長 鈴木政則 幹事 小林 勝

第1191回例会
2014.7.18(金)晴

ガバナー公式訪問 ホストクラブ:三島西RC
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

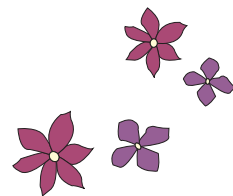
三島西RC会長 諏訪部照久君

皆さんこんにちは、きょうはガバナー公式訪問日、せせらぎ三島RCとの合同例会になっています。後ほど岡本ガバナーの話を拝聴する予定となっていますので、岡本ガバナー宜しくお願いします。

さて、話は変わりますが7月13日(日)にグランドホテル浜松で開催された“RI2620地区会員増強・維持委員会研修セミナー”に鈴木正二委員長と出席してきました。映像による諸先輩方のレクチャーや各分区の代表者による発表があり、色々と参考になりました。そのなかで一番印象に残った言葉は、“仲間”でした。それは、ロータリーの会員になるメリットや退会しない理由は多々ありますが、究極的には“仲間になりたい、仲間になりたい”がキーポイントだったと思います。しかし、ロータリー仲間はどうあるべきかの話まで追究できなかったのが、残念でした。ようするに、近所の仲間、学生時代の仲間、職場での仲間や飲み仲間とは違うはずのロータリー仲間とは、何かと言うことです。ロータリーの会員は、ここがはっきり理解できれば会員は増え、退会者も減ると思います。ただし、あまり難しい事だと私にも無理ですから、常識的な教えでと考え、孔子の言葉を思い出してみました。子曰く「正直な人を友とし、誠実な人を友とし、知識ある人を友とすれば、得なり。世慣れして卑屈な人、一見、人当たりは良いが不誠実な人、口がうまいだけの人を友とするは、損なり。」です。もし得する仲間がロータリー仲間であれば、ロータリーの繁栄は間違えないと思いますが、さて皆さんはどうお考えでしょうか。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

岡本一八ガバナー(浜松北RC)
前嶋 純地区幹事(浜松北RC)
塩谷 泉地区幹事(浜松北RC)
小野 靖ガバナー補佐(裾野RC)
芹澤 豊ガバナー補佐事務局(裾野RC)



出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	31/34	91.18%	34/34	100%
今回	25/33	75.76%	会員総数	34名

欠席者

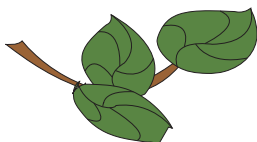
あなたが見えなくて残念でした。

遠藤君、太田君、岡君、兼子君、田中君、山口(辰)君、山本君、渡邊君

幹事報告

三島西RC幹事 千葉慎二君

1. 本日の例会は三島西・せせらぎ三島RC合同例会でガバナー公式訪問です。



ガバナー挨拶

RI第2620地区ガバナー
岡本一八君



2014-15年度のロータリーは、ゲイリー・C.K.ホアン会長の元、「ロータリーに輝きを」もたらすことがテーマ。そのため私は、会員増強を最優先課題とし、「会員のためになっているか」を考え、あらゆることを見直し、クラブ運営を行ってほしいと思う。社会ニーズが50年前と大きく変化している今、私たちの考え方もチェンジすることが必要。過去から目線ではなく、未来目線で新たな環境に適応し、チャレンジしていこう。

会員増強のために

新会員200名の入会が地区最大目標。

1人の会員が3人に声をかける努力をする。

レディーズ委員会や新会員委員会を設け、女性会員や新会員の意見を積極的に取り入れることで、新たな時代に合った魅力あるクラブを目指す。

(女性会員の割合／世界が20%に対し、日本は5%と実に低いのが現状。)

高額会費の見直しも必要。

寄付増強を目指そう

財を成したベテラン職業人に、社会奉仕という夢を叶える場を提供し、寄付を募る。

若い事業者を、ロータリーで一流職業人に育てあげ、利益から寄付増強につなげる。

奉仕目的の徹底

唯一変化してはならないのが「職業奉仕」。

職業奉仕とは、自分の職業(仕事)を成すこと。それこそが社会奉仕に繋がる。

職種が多様化していることに合わせ、名簿の職業分類を、解りやすく詳しく書き直そう。

会員同士の絆づくり、新たな友達づくりを奨め、会員の職業奉仕を応援しよう。

仲間づくりが成功への一歩

合同例会、メーキャップをはじめ、会員交流の場を積極的に実施しよう。

ロータリーは世界と繋がり、時流がいち早く掴め、ビジネスチャンスが溢れている。職業奉仕、また、地域社会奉仕のあり方を研究し、行動するアイデアを生み出そう。

ロータリーは、事業成功のクラウドだ！

積極的に出席し、本音で話し合える仲間を作り、自ら幸運を掴んでほしい。

リーダーとしての考え方

従来の慣習にとらわれず、明るい未来思考で考えていこう。考えてから動くでは遅い。行動しながら考えよう。

自分の職業は真剣に情熱を持って！

ロータリーの仕事は真面目に！

ガバナー補佐に大きな期待。パストガバナーは、ガバナー補佐のアドバイザーとして活躍を。

永続を目指そう

何より永続が大事。時代に合わせ、多様性に富んだロータリーの価値観を構築し、ロータリーファミリーを作ろう。

ROTARY NEWS

ロータリー年度は、なぜ7月1日に始まるのかと、疑問に感じたことはありませんか。これは、毎年開催される国際大会に、その由縁があります。

ロータリーの最初の会計年度は、第1回大会が終了した翌日、1910年8月18日に始まりました。翌年度も同様に、国際大会の日程に合わせ、8月21日開始となっています。

さらに翌年の1912年8月、理事会が当時の国際ロータリー・クラブ連合会の会計監査を依頼した際、クラブ幹事と会計が十分な時間をもって、大会に向けた財務報告を準備し、クラブ代議員の数を決定できるよう、会計年度の最終日は6月30日にするのがよいとの提案を会計士から受けました。

執行委員会はこれに同意し、1913年4月の会合で、6月30日を会計年度最終日と決めました。この決定に伴い、クラブ会員数の報告と支払いに関する期日のほか、「ザ・ロータリアン」誌の巻番号システム(1914年7月の第5巻より開始)もまた変更されました。

ロータリーはその後、1917年まで、7月または8月に年次大会を開催していましたが、1916年大会(米国、シンシナティ)での代議員が、夏場の暑さを考慮し、大会を6月に開催する決議案を採択しました。これにより、次の大会となるアトランタ大会は6月17~21日に開催されました。

「ロータリー年度」という表現は、ロータリーの運営年度を示す用語として、1913年から使用されているようです。同年7月の「ザ・ロータリアン」誌には、「終わりに近づきつつある本ロータリー年度は、クラブが容易に集結できるよう、充実したクラブ合同会合が行われた一年でした」と記されています。

ロータリーの歴史資料室